

滅菌ロール・バッグを安全に正しくお使い頂くために

本製品は医療材料等のオートクレーブ滅菌またはEOガス滅菌する際に用いる包装材です。他の用途、目的、滅菌方法には使用しないで下さい。

① 滅菌物の洗浄・乾燥は十分に 行って下さい。

濡れた状態でパックすると、滅菌不良や破裂をおこす恐れがあります。またインジケーターが異常変色する可能性があります。



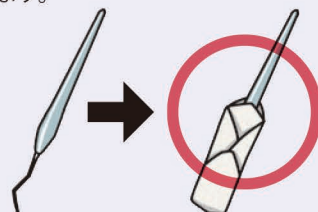
② ガウンやガーゼなど、蒸気の浸透が難しいとされる物は詰めすぎないで下さい。

滅菌不良や破裂（シール部の剥がれ）の原因となります。



③ インstrumentなどの先の尖った物などをパックする場合は先端を不織布などで包み滅菌して下さい。

紙やフィルムが破損する恐れがあります。



④ 先の尖った物、重量物をパックする場合は勢い良く落とし込まないで下さい。

本品の底部が破れる恐れがあります。

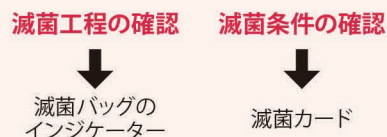


⑤ ヒートシール作業は完全に実施して下さい。

ヒートシール作業前には本品内のエアは十分に抜いておいて下さい。未完了だと破裂の原因となります。ヒートシールにあたっては170～220℃を目安としてご使用下さい。ただ、シール条件はシール機毎、滅菌バッグの種類等によって異なります。シール機の使用法に基づいて適切にシールして下さい。

⑥ インジケーターについて。

本品に印刷してあるインジケーターは滅菌工程を通ったかどうかの確認用です。インジケーターの変色が滅菌を保証するものではありません。内容物が滅菌条件に達したかどうかの確認には滅菌カード（別売）などをご使用下さい。



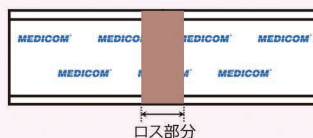
⑦ 本品はプラズマ、ガンマ線滅菌等には使用出来ません。

またEOガス滅菌の場合、洗浄成分が残っていた場合、正常な色変化にならない場合があります。



⑧ 本製品には、テープを使用している「繋ぎ目」が入っている製品があります。

これは製造工程中に必ず発生する「ロス」部分で、粘着が弱くなっています。この箇所はご使用にならないで下さい。「ロス」部分については同じ長さを余分に巻いています。



⑨ 再使用について。

本品は使い捨ての DISPOSABLE 商品です。再使用・再滅菌はお控え下さい。

⑩ 保管上の注意。

インジケーターの性能を劣化させる原因となりますので直射日光及び火気を避け、湿気の少ない清潔な場所に保管して下さい。